

「福島原発災害チャリティー講演会」の開催

主催:医療放射線防護連絡協議会

共催:日本医学放射線学会

後援:日本医学会, 日本放射線技術学会

東日本大震災に伴う福島原発災害により、多くの市民が、放射線・放射能への極度の不安と混乱に陥りました。今後の健康影響への深刻な事態も予測されています。また、福島原発災害からの放射能による、食品・飲料水への汚染は、大きな社会問題です。乳児やお腹の赤ちゃんへの健康影響を心配した、母親など家族の、極度の不安やストレスも懸念されています。

私たちは、日頃、医療の放射線利用と医療安全・放射線安全に係っています。今後も放射線・放射能を安全に利用し、その恩恵を市民と共有し続けるためには、この大惨事を皆様と一緒に克服しなければなりません。

放射線影響、食品衛生の基本をもう一度学びましょう。その後、会場の皆様と知恵を絞り、現状を受け入れて、再び前に進む方策を提言します。

(本講演会は参加費を無料とし、お志を東日本巨大地震災害義援金として受け付けます。)

- ◆ 日 時:平成23年3月27日(日)13時～16時
(当日 10 時 30 分から整理券配布(12 時開場))
- ◆ 場 所:[メルパルクホール](#)
東京都港区芝公園 2-5-20 電話 03-3459-5501
- ◆ テーマ:「福島原発災害にともなう放射線影響とは
放射線・放射能から大切な命を守ろう!」
- ◆ 参加費:無料(災害義援寄付を受け付けております)

●開催挨拶(13:00-13:15)

日本医学会会長	高久 史麿
日本医学放射線学会理事長	杉村 和郎

●教育講演(13:15-13:55)

司会:中村信仁(日本医学放射線学会 防護委員長)	
放射線の健康影響	丹羽 太貫(京都大学名誉教授)

●パネル討論会(14:10-15:55)

司会:大野 和子(京都医療科学大学)	
1. 対応を影響量から考える	菊地 透 (医療放射線防護連絡協議会)
2. 食品衛生の基準値	香山 不二雄 (自治医科大学)
3. 正確な情報収集	清 哲朗 (元厚生労働省医療放射線管理専門官)
4. 医療関係者に必要な基礎知識	大野 和子 (京都医療科学大学)

※パネリスト講演に引き続き、参加者を交えた討論により今後の対応策を考えます

指定発言 川野龍太郎 他数名

●閉会挨拶 佐々木 康人(医療放射線防護連絡協議会会長)

医療放射線防護連絡協議会 事務局
東京都文京区本駒込 2-28-45 日本アイトープ協会内
FAX:03-5978-6434 jarpm@chive.ocn.ne.jp